

令和 7 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	信州大学地域参画プロジェクト CHANGE	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学・経法学部・3年
	ふりがな 氏名	あべはやと 阿部颯斗
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学・教職支援センター准教授・ あらいえいじろう 荒井英治郎

活動名	地域参画プロジェクト (松本市の交通戦略、三の丸エリアプロジェクトに係る取り組み)
実施時期	令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月まで
実施場所	長野県内 (松本市中心)
活動内容	<p>今年度は、松本市交通ネットワーク課と共同で開催した学生座談会、三の丸エリアプロジェクトへの参加を軸として活動に取り組んだ。</p> <p>第一に、松本市交通ネットワーク課と共同で「学生座談会～交通でつくる、よりよい松本の暮らし～」を信州大学松本キャンパスにて、開催した。本座談会は現在、松本市が次期総合交通戦略の策定を進めている状況を踏まえ、その戦略の中に私たち学生の考えも反映させることを目的として開催した。今年度は 2 回開催し、8 月 29 日の第 1 回では交通に限らず「松本で暮らす上で困ったこと」をざっくばらんに話し合った。12 月 17 日に行われた第 2 回では、1 回目で挙げられた課題も踏まえつつ、より交通に焦点を当てた話し合いを行った。そして、参加者の興味関心をもとに、「公共交通」、「自転車」、「道路状況」にグループ分けをし、各グループにそれぞれ市の担当職員の方も入り、市の現状や取り組みも教えていただきながら議論を行い、学生の意見もお伝えした。</p> <p>第二に、2023 年から携わってきた松本市が策定した三の丸エリアビジョンのうちの一つである「松本国宝の架け橋プロジェクト」に参加し、鷹匠町の地域住民の方々とは様々な活動を行った。今年度は、歩行者天国等の松本国宝の架け橋プロジェクトの一企画、タカノバの最終イベントに参加した。タカノバ設営時から継続的に参加していたため、2025 年 9 月 13 日の最終イベントでも子ども向けイベントを一から企画し、実行した。具体的には、ストラックアウト、スーパーボールすくい、クイズラリーの他、タカノバクラフトの皆さまのご協力のもとで、うちわデコレーションを行った。企画面では、なるべく子どもたちが安全に楽しめるよう、あまり大きくはないスペースをどのように有効活用するか地域の方々とは複数回話し合いながら調整を行った。当日は多くの子どもたちに来場いただき、楽しめるよう参加可能なメンバー総出で運営に回った。当日、想定以上の来客があり、景品がなくなってしまったが、地域の方が物品を譲ってくださったり、新しい遊びを行ってくださったりしたことで、最後まで楽しい企画を行うことができた。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>松本市総合交通戦略に係る学生座談会の成果として、他大学の学生も含めて議論を深め、交通戦略策定に際し私たち学生のリアルな意見を市にお伝えできたことが挙げられる。学生は自動車よりも公共交通機関や自転車を利用する人が多いため、私たちより少し上の世代の方とはまた違った意見を提示できたと考えられる。例えば、公共交通機関を利用しやすくするためのアプリの案や、自転車利用を促すための駐輪場の設置やイベントの案など様々な意見が出た。市の職員の方々からも、新鮮な意見だというお言葉をいただいた。また、座談会の中で市職員の方から、市の現状や取り組みをお聞きすることもでき、学生自身も学びながら交通に関して考えるきっかけとなった点も成果といえる。一方課題として、本企画は市からのお誘いのもと実行した企画であるが、学生側からも、もう少し企画に関して提案ができればよかったと感じる部分があった。また、本座談会では意見を出したまま終わってしまったため、ここから出た意見をさらに社会に発信したり、実際の活動を起こしたりするなど、広げていくことのできる方法を探ってい</p>

たいと考えている。

松本国宝の架け橋プロジェクトでの活動について、地域の方々と密接な交流、地域貢献を行えた実感できるようなイベントになった。継続して行ってきたイベントでもあったため、楽しみにしてくれていた地域の子どもたちとの交流や、若者向けの地域活性化に繋がるような活動ができたように考える。近年、家の中で遊ぶ子どもも増えている中、外で人と関わることができるきっかけ作りを行えたことは、成果のひとつである。また、実際にこのようなイベントを通して、地域の方々と交流の大切さや地域おこしの必要性を各々が感じられたことも大きな成果であった。この活動で知り合った方が行う別のイベントに参加させていただくこともあり、私たちの活動や視野も広がった。一方で、ひとつの地域参画の核として利用していたタカノバという場は解体されることになる。今後、自分たちがどのような手段で地域参画を行っていくのか、この経験をどのように活かしていくのかをしっかりと考える必要があることが今後の課題である。特定の場所がなくてもできるような地域参画の形を考えていく必要がある。

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。

※本報告書と併せて、活動内容報告動画及び支出明細書（領収書添付）を提出してください。

※提出された活動報告書等一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。



(写真1：12月17日、第2回交通座談会の発表の様子)



(写真 2 : タカノパファイナルイベント スーパーボールすくいの運営)



(写真 3 : タカノパファイナルイベント 制作した虫探しクイズラリー)